



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 クリナップ株式会社

コード番号 7955 URL <http://cleanup.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 井上 強一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部担当

(氏名) 田中 仁

TEL 03-3894-4771

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日

平成25年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	59,876	8.6	3,764	61.0	3,563	66.0	2,119	64.2
25年3月期第2四半期	55,159	18.7	2,338	349.2	2,146	395.4	1,290	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 2,232百万円 (86.8%) 25年3月期第2四半期 1,195百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第2四半期	45.49	—
25年3月期第2四半期	27.70	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
26年3月期第2四半期	89,204	57,800	64.8	1,240.59
25年3月期	85,891	56,033	65.2	1,202.66

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 57,800百万円 25年3月期 56,033百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年3月期	—	5.00	—	10.00	15.00
26年3月期	—	10.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正につきましては、本日(平成25年11月7日)公表いたしました「第2四半期累計期間業績予想数値と実績値との差異及び通期業績予想の修正並びに剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	121,500	7.0	5,800	22.0	5,500	25.8	3,000	19.7	64.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日(平成25年11月7日)公表いたしました「第2四半期累計期間業績予想数値と実績値との差異及び通期業績予想の修正並びに剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	46,942,374 株	25年3月期	46,942,374 株
26年3月期2Q	350,848 株	25年3月期	350,758 株
26年3月期2Q	46,591,556 株	25年3月期2Q	46,591,676 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期決算短信のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
(その他の注記事項) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済対策や金融政策への期待感を背景に、輸出環境や株式市場に改善の動きがみられ、景気回復への期待感が高まっております。

住宅設備機器業界におきましては、政府による住宅取得支援策に加え、消費税増税による駆け込み需要もあり、新設住宅着工戸数は平成24年9月より連続して前年同月を上回るなど、堅調に推移いたしました。

このような中で当社グループは、『ステンレスエコキャビネット』を標準装備したシステムキッチン「クリンレディ」を中心として、平成25年6月に「h a i r o (はいろ)」のデザイン性を高めてフルモデルチェンジしたシステムバスルーム「ユアシス」や高さのバリエーションが豊富になった洗面化粧台「ティアリス」や「S [エス]」等、付加価値の高い商品を市場に提供してまいりました。

販売面では、大切な顧客接点であるショールームでの価値提供強化を図るために、全国102ヶ所のショールームを活用した新商品フェアを実施し、当社の会員登録制組織「水まわり工房」加盟店をはじめとした流通パートナーとの連携も深めながら、需要の拡大、獲得に努めてまいりました。

生産面では、引き続きV E活動を推進し、原価低減に努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高を部門別にみますと、厨房部門では、システムキッチン「S. S.」は数量、金額とも減、「クリンレディ」は数量、金額とも大幅増、「ラクエラ」も数量、金額とも大幅増となりました。この結果、厨房部門の売上高は前年同期比9.4%増の456億3千7百万円となりました。

浴槽・洗面部門では、システムバスルーム「アクリアバス」は数量、金額とも微増、「ユアシス」は数量、金額とも増、洗面化粧台においても数量、金額とも増となりました。この結果、浴槽・洗面部門の売上高は前年同期比3.8%増の115億1千4百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比8.6%増の598億7千6百万円となりました。利益面では営業利益は同61.0%増の37億6千4百万円、経常利益は同66.0%増の35億6千3百万円、四半期純利益は同64.2%増の21億1千9百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は892億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ33億1千3百万円増加いたしました。流動資産は615億4百万円となり、26億5千7百万円増加いたしました。これは有価証券が6億9千9百万円減少した一方、現金及び預金が24億1千6百万円、受取手形及び売掛金が2億2千9百万円、電子記録債権が1億7百万円、商品及び製品が5億9百万円増加したこと等によります。固定資産は276億9千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億5千6百万円増加いたしました。これは有形固定資産が1億7千7百万円増加、無形固定資産が3億8千6百万円増加、投資その他の資産が9千2百万円増加したことによります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は314億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億4千6百万円の増加となりました。流動負債は短期借入金が15億円、未払法人税等が6億7千5百万円増加したこと等により24億7百万円増加し、245億1百万円となりました。固定負債は主に長期借入金の減少等により8億6千万円減少し、69億2百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は578億円となり、前連結会計年度末に比べ17億6千6百万円増加いたしました。これは四半期純利益21億1千9百万円、配当金の支払い4億6千5百万円等によります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の65.2%から64.8%になりました。

### (キャッシュ・フロー)

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ19億1千6百万円（7.0%）増加して291億2千1百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間において、営業活動によって得られた資金は31億5千7百万円（前年同期比11.8%減）となりました。これは税金等調整前四半期純利益が35億2千2百万円と前年同期比13億8千8百万円の増益で、減価償却費14億2千7百万円等があった一方、たな卸資産の増加7億1百万円、法人税等の支払額7億2千6百万円があったこと等によるものです。

当第2四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は14億4千3百万円（前年同期比5.7%増）となりました。これは生産設備の増設及び改修等により有形固定資産の取得に伴う支出が10億7千9百万円、情報システム構築に伴う支出が5億7千1百万円あった一方、有価証券の償還による収入が2億円あったこと等によるものです。

当第2四半期連結累計期間において、財務活動の結果得られた資金は1億7千7百万円（前年同期は11億3千1百万円の使用）となりました。これは長期借入金の約定返済7億9千9百万円、配当金の支払いが4億6千5百万円あった一方、短期借入れによる収入が15億円あったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、順調な伸びをみせている新設住宅着工戸数や、消費税率改定による駆け込み需要に下支えされ、消費税増税後の反動に懸念材料が残るものの、当期は堅調に推移するものと思われま

す。このような状況下、当社グループはフィルターを自動洗浄する「洗エールレンジフード」等の高付加価値商品で差別化を図り、『ステンレスエコキャビネット』を標準装備したシステムキッチン「クリンレディ」やトータルコーディネートが可能なシステムキッチン「ラクセラ」及びシステムバスルーム「ユアシス」等を中心に売上拡大に努めてまいります。また、需要構造の変化に対応した販売活動やショールームのリニューアルを推進し、生産面での原価低減、全社的なコスト削減にも努めてまいります。

以上により、通期の連結業績予想につきましては、直近の経営環境を踏まえ、売上高1,215億円、営業利益58億円、経常利益55億円、当期純利益30億円に修正させていただきます。

なお、平成25年5月8日に公表いたしました通期の連結業績予想との差異は以下の通りです。

平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	118,800	4,800	4,500	2,550	54.73
今回修正予想 (B)	121,500	5,800	5,500	3,000	64.39
増減額 (B-A)	2,700	1,000	1,000	450	—
増減率 (%)	2.3	20.8	22.2	17.6	—
(ご参考) 前期実績 (平成25年3月期)	113,533	4,755	4,372	2,506	53.79

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	24,690	27,107
受取手形及び売掛金	24,931	25,160
電子記録債権	2,464	2,571
有価証券	2,713	2,013
商品及び製品	874	1,384
仕掛品	103	120
原材料及び貯蔵品	970	978
その他	2,143	2,213
貸倒引当金	△44	△45
流動資産合計	58,847	61,504
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,498	8,655
その他(純額)	10,998	11,018
有形固定資産合計	19,496	19,673
無形固定資産		
1,867		2,253
投資その他の資産		
投資有価証券	3,074	3,199
その他	2,703	2,662
貸倒引当金	△98	△89
投資その他の資産合計	5,679	5,772
固定資産合計	27,043	27,699
資産合計	85,891	89,204

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	6,849	6,843
短期借入金	1,599	3,099
未払金	10,534	10,628
未払法人税等	746	1,422
賞与引当金	1,289	1,325
資産除去債務	2	9
その他	1,072	1,172
流動負債合計	22,094	24,501
固定負債		
長期借入金	3,168	2,368
退職給付引当金	1,793	1,696
役員退職慰労引当金	424	424
資産除去債務	354	350
その他	2,021	2,061
固定負債合計	7,762	6,902
負債合計	29,857	31,404
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	13,267	13,267
資本剰余金	12,351	12,351
利益剰余金	30,183	31,837
自己株式	△224	△224
株主資本合計	55,578	57,231
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	450	532
為替換算調整勘定	5	36
その他の包括利益累計額合計	455	569
純資産合計	56,033	57,800
負債純資産合計	85,891	89,204

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	55,159	59,876
売上原価	35,933	38,775
売上総利益	19,226	21,100
販売費及び一般管理費	16,887	17,336
営業利益	2,338	3,764
営業外収益		
受取利息	10	10
受取配当金	37	42
仕入割引	130	143
その他	76	69
営業外収益合計	255	266
営業外費用		
支払利息	37	23
売上割引	357	389
その他	52	53
営業外費用合計	447	467
経常利益	2,146	3,563
特別利益		
固定資産売却益	55	0
投資有価証券売却益	15	6
特別利益合計	71	7
特別損失		
固定資産除売却損	70	46
投資有価証券評価損	3	1
退職特別加算金	9	—
減損損失	1	0
特別損失合計	83	48
税金等調整前四半期純利益	2,134	3,522
法人税等	843	1,403
少数株主損益調整前四半期純利益	1,290	2,119
四半期純利益	1,290	2,119



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,290	2,119
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△94	82
為替換算調整勘定	△0	31
その他の包括利益合計	△95	113
四半期包括利益	1,195	2,232
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,195	2,232
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,134	3,522
減価償却費	1,328	1,427
賞与引当金の増減額(△は減少)	46	35
売上債権の増減額(△は増加)	1,078	△76
たな卸資産の増減額(△は増加)	△725	△701
仕入債務の増減額(△は減少)	161	△5
未払金の増減額(△は減少)	494	47
その他	△619	△397
小計	3,897	3,851
利息及び配当金の受取額	47	52
利息の支払額	△37	△20
法人税等の支払額	△328	△726
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,580	3,157
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△200	—
有価証券の償還による収入	—	200
有形固定資産の取得による支出	△963	△1,079
有形固定資産の売却による収入	59	0
無形固定資産の取得による支出	△361	△571
投資有価証券の取得による支出	△201	△1
投資有価証券の売却による収入	77	9
投資有価証券の償還による収入	200	—
その他	22	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,365	△1,443
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△164	1,500
長期借入金の返済による支出	△683	△799
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△233	△465
その他	△50	△57
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,131	177
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	24
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,085	1,916
現金及び現金同等物の期首残高	26,248	27,204
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,333	29,121

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

当社及び連結子会社は、住宅及び店舗・事業所用設備機器関連事業とその他事業を行っておりますが、報告セグメントは単一セグメントであり、重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(その他の注記事項)

(総合設立型厚生年金基金に係る偶発債務)

当第2四半期連結会計期間(平成25年9月30日)

当社及び当社連結子会社の一部が加入する「東京都家具厚生年金基金」は、平成25年9月10日開催の代議員会において、解散方針の決議をいたしました。

当決議により、同基金の解散に伴い費用の発生が見込まれますが、現時点で不確定要素が多く、合理的な見積り金額の算定ができません。